

輸送動向について(8月分)

平成19年9月

1. 輸送概況

今月は、7月16日に発生した新潟県中越沖地震の影響で、信越線柿崎駅～柏崎駅間が依然不通となっていた他、上旬には台風5号の上陸による輸送障害が発生し、月全体では高速貨805本、専貨30本が運休した。この間、輸送対策として、東海道・東北線経由となる迂回列車の運転をはじめ、不通区間での利用運送事業者と連携したトラックによる代行輸送を増強するなど、輸送力の確保に最大限努めた。(なお、信越線柿崎駅～柏崎駅間は9月13日より全面的に運転を再開する。)

荷動きについては、上旬は盆休前の先送り需要があったものの、月全体を通して輸送障害の影響を受け、特に下旬は極めて低調に推移した。

コンテナ貨物では、政府米の出荷が強勢であった農産品・青果物の他、自動車部品などが前年を上回ったものの、輸送障害の影響を受けた新潟・金沢地区の紙・パルプをはじめとして、積合せ貨物、化学薬品、食料工業品などが前年を大きく下回り、コンテナ貨物全体では前年比97.8%となった。

車扱貨物では、石灰石が前年を上回ったものの、灯油及び重油が大きく減送となった石油、セメントなどが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比90.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,794	1,834	97.8%	9,330	9,279	100.6%
車扱	994	1,098	90.5%	4,744	5,186	91.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	173	159	14	108.8%
	化学工業品	171	180	-9	95.0%
	化学薬品	121	130	-9	93.1%
	食料工業品	288	295	-7	97.6%
	紙・パルプ	294	313	-19	93.9%
	他工業品	132	126	6	104.8%
	積合せ貨物	194	204	-10	95.1%
	自動車部品	57	48	9	118.8%
	家電・情報機器	29	32	-3	90.6%
	エコ関連物資	30	34	-4	88.2%
	その他	305	311	-6	98.1%
	コンテナ計	1,794	1,834	-40	97.8%
車扱	石油	598	686	-88	87.2%
	セメント	76	87	-11	86.6%
	石灰石	66	64	2	103.0%
	車両	118	124	-6	95.2%
	その他	137	137	0	100.0%
		車扱計	994	1,098	-104

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)